

NPO 法人日本語とエキステンズの会 事業報告書(生活支援)

事業 ID: 2022015154

事業名: ウクライナ避難民へのオンライン日本語教育及び行政手続きの支援

助成機関: 日本財団

【活動概要】

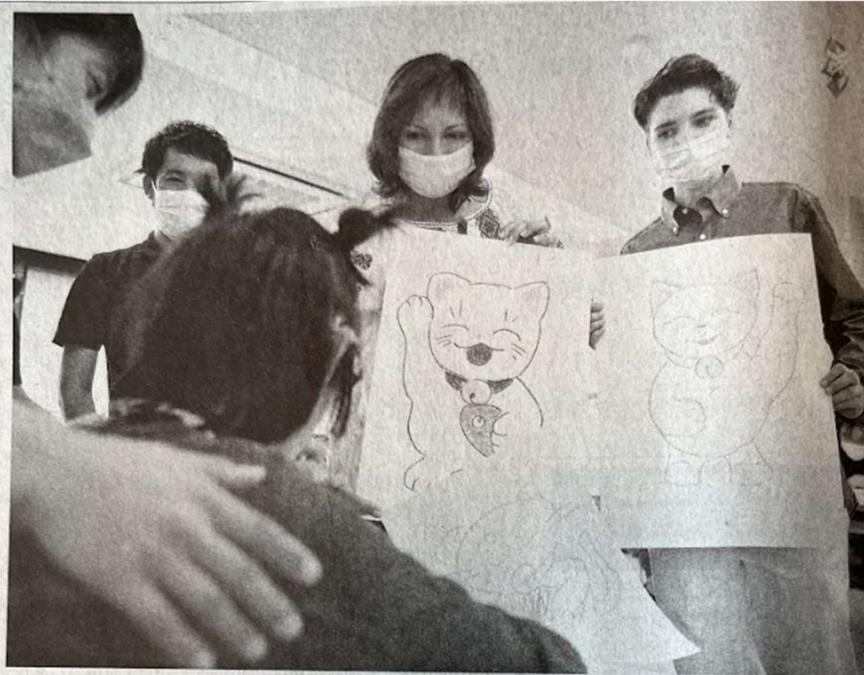
ウクライナ難民の方への支援についての意識啓発を目的に、以下イベントを開催しました。

ミーナ国際交流会

ウクライナにてアーティストとして活躍されていた方が、日本でも同様の活動ができるようにとの思いから当該交流会が開催されました。障害者支援施設で開催することにより、絵を描くことを通して、セラピーのような効果を期待して、交流会を企画しました。

ウクライナ人アーティストの方から自己紹介や国籍・文化の紹介、またウクライナの現状についてお話しされ、通訳者を介して、支援施設にいらっしゃる方へ共有頂きました。またウクライナ人アーティストの方の提案で、参加者全員で招き猫を描くワークが行われました。絵を描くというアートワークを通し、ウクライナ人参加者の方、また施設に滞在されている方同士での交流が深められました。





施設の利用者らと交流するブチエワさん(中央)と
ボルドウンさん(大阪市淀川区)で 三浦邦彦撮影

ウクライナ芸術家と交流

ロシアの侵攻を受け、泉佐野市で避難生活を送っているウクライナ人のアーティスト2人が28日、大阪市淀川区の生活介護事業所「ミーサ」で、アートセラピー(芸術療法)を通じて利用者らと交流した。

2人はニナ・ブチエワさん(41)と、友人のダリア・テルノワ・ボルドウンさん(20)。日本人支援者のサポートを受けて今月中旬、来日した。

この日は最初に、ブチエワさんがウクライナ語のあいさつの言葉を紹介し、写真で首都キーウの美しい街並みや食文化を紹介。その後、2人と

淀川区障害者らと招き猫描く

施設を利用する障害者らは、一緒に招き猫の絵を描いて楽しんだ。

ブチエワさんは「たくさんの笑顔に触れられた」と話し、ボルドウンさんも「少しでもウクライナを感じてもらえたらうれしい」とこやかに語った。

ブチエワさんは、激戦地でロシアへの併合に向けた住民投票が行われたウクライナ南部出身。銃弾が飛び交う中、死を覚悟したこともあったといい、「故郷の家族が心配。ウクライナに一日も早く平和が訪れてほしい」と願っていた。

ウクライナ難民支援の報告会

ウクライナ難民に対する日本語支援の実施状況について報告会を開催。日本語学習のプログラムの実施状況や参加者の状況、教材の提供などの具体的な成果を提示し、また、日本語能力の向上が難民の生活や就労の支援にどのように貢献しているかについても報告。課題や今後の方針について検討するためにも、言語の壁や文化の違い、法的な問題などの課題に対する対策や、より効果的な支援方法の検討が行われました。また、ワークショップを通じて日本語能力の向上を中心とした継続的な支援や、難民の自立を促す支援の重要性について、参加者同士でディスカッションが実施された。詳細は別途添付のパワーポイント資料を参照。

ウクライナ日本語支援報告会 ～ウクライナ避難民への 日本語学習支援レポート～

2022年9月25日(日)14:00～15:30
主催:大阪市立総合生涯学習センター
共催:NPO法人 日本語とエクステンジの会

アジェンダ

NPO法人「日本語とエクステンジの会」のご紹介

1. 支援までの経緯
2. 清風情報工科学院さんの取り組み
3. NPO法人における受け入れ準備
4. ウクライナ日本語学習支援について
5. ウクライナ避難民への日本語支援の現状(レッスン風景)
6. ワークショップ「ウクライナの方への支援を考えてみよう！」
7. 今後の取り組み
8. 閉会及び各団体の連絡先

*何かご不明な点やご質問ありましたら随時チャットの方で、お問い合わせください。



Japanese and Language exchange group/NPO法人 日本語とエクスチェンジの会 ...

2022年9月28日 · 🌐

★ネットワークサロン「ウクライナ日本語支援報告会 ～ウクライナ避難民への日本語学習支援レポート～」(オンライン講座)が開催されました!★

NPO法人日本語とエクスチェンジの会では、日本財団からの支援を受け、ウクライナ避難民の方を対象とした日本語学習支援サポートの授業を行っています。

今回、大阪市立総合生涯学習センター主催のネットワークサロンにて、オンライン日本語学習支援の報告会が開催されました!

ウクライナ避難民の方の受け入れ及び日本語授業を行っている清風情報工科学院さんの取り組みをはじめ、NPO法人におけるオンライン授業開講までの準備や実際の授業風景について報告を行いました。

ウクライナ避難民の方への就労支援について考えるワークショップでは、「個人でできること」「できないこと」をテーマにディスカッションが行われました。一人ではできないことでも、地域・組織単位で考えるとどのようなことが起こるか、その可能性を考えてみることで、より多くの「できること」をグループ内で出し合うことができました!個人として「できること」は、困っている人のために「できることがある」ということを知るための大切なアイデアです。参加者のみなさん、自由な発想でたくさんのアイデアを出して頂き、有意義なディスカッションとなりました😊

私たちは日本語学習を必要とされている日本在住の外国籍の方へ、これからも日本語学習を支援していきます。

- 日本財団 THE NIPPON FOUNDATION
<https://www.nippon-foundation.or.jp/>
- NPO法人日本語とエクスチェンジの会
Email: npojexgroup@gmail.com

★Network Salon "Reporting session of Japanese Language Support for Ukrainian Refugees"★

Specified Non-profit Corporation Japanese and Language Exchange Group conducts Japanese language classes for Ukrainian refugees with support from the Nippon Foundation.

Regarding our language support, an online debriefing session was held at the network salon hosted by the Osaka Municipal Lifelong Learning Center!

The session included reports on the efforts of the Seifu Institute of Information Technology, which accepts Ukrainian refugees and conducts Japanese language classes, as well as the NPO's preparations up to the opening of online classes and explanations of actual classes.

At the workshop, participants were asked to think of employment support for Ukrainian refugees. The discussion was held on the theme of "what kind of support individuals can do" and "what is impossible to do by individuals".

Even though there were things we could not achieve on an individual basis, we were able to come up with more "things we can do as a group" by discussing the possibility of what could happen by working on a regional or organizational basis! "What you can do as an individual" is an important idea to know that "there is something you can do" for those in need. It was an incredibly meaningful discussion thanks to all the participants who came up with a lot of great ideas 😊

● THE NIPPON FOUNDATION

<https://www.nippon-foundation.or.jp/>

●Specified Non-profit Corporation Japanese and Language Exchange Group

Email: npojexgroup@gmail.com

ネットワークサロン 「ウクライナ日本語支援報告会」



2022年9月25日（日）

主催：大阪市立総合生涯学習センター
共催：NPO法人日本語とエキステンジの会

5. レッスン風景（ひらがなの練習）



ひらがなを練習して、ひらがなで簡単な文章を書いてみる。練習はみんなの協力、ひらがなも頑張ります。

6. NPO法人「日本語とエキステンジの会」の今後の取り組み

- ・ウクライナから日本への避難を希望されている方へ日本語学習支援を提供
- ・満感情報工科学院さんから在日ウクライナ大使館への協力を要請中
- ・現在ウクライナにいらっしゃる日本語学習希望されている方を対象に、10/22日よりオンラインクラス開講予定
- ・満感情報工科学院さん他、全国の日本語学校が対象授業に受け入れ予定
- ・日本在住のウクライナの方に対する就労支援も検討中



NPO法人によるオンライン授業開講準備や
実際の授業風景について
報告を行いました！

7. ワークショップ

- ・ウクライナから避難してきた方への就労支援について考えるワークショップ

8. ワークショップ

- ・ウクライナから避難してきた方への就労支援について考えるワークショップ

ウクライナ避難民の方への就労支援について考えるワークショップも行われました！

ウクライナから避難してきた方への就労支援について考えるワークショップ

ワークショップ

- ・ウクライナから避難してきた方への就労支援について考えるワークショップ

就労支援について、自由な発想で
たくさんのアイデアを共有頂きました😊



NPO法人日本語とエキステンジの会では、
世界中の語学学習者を応援しています！
日本語を勉強したい方はぜひ見に来てね😊

NPO法人 日本語とエキステンジの会



Mail : npojexgroup@gmail.com

Facebookページ

インサイトと広告を見る

投稿を宣伝

ウクライナ留学生交流会

ウクライナから日本に留学している留学生と日本人学生との交流を促進することを目的として開催。ウクライナ留学生と日本人学生間での交流を深めることを目的に、ウクライナ文化や食文化の紹介、日本文化の紹介、留学生と日本人学生の交流ゲームやディスカッションの実施。フィードバックでは、交流会を通じて、ウクライナ文化に興味を持った日本人学生が増加し、留学生との交流が活発化、また留学生同士の交流も促進され、留学生同士のコミュニケーションが活発になったという声があった。

当 NPO 法人代表の槇野が、ウクライナ避難民の方の受入れに至った経緯や日本財団様からの助成金を頂いている旨、及び実際の支援運営の活動報告や今後の展開について挨拶を行いました。また、当日は関西テレビの報道番組の取材が入り、当該交流会の様子が関西地方にて放映されました。

また、当該交流会を通して知り合ったウクライナ人参加者の方より日本における就労についての相談を受け、当該 NPO 法人の支援活動について説明を行いました。

